

文化財について



鈴木 央 議員

質問… 28 年度の予算編成における文化財に対する取り組みの特徴、重点課題について伺います。

答弁… 平成 28 年度大田原市予算の概要のとおり、文化財保護費 1 億 1 6 4 8 万 8 0 0 0 円の内訳として、国、県、市指定の史跡や天然記念物等に係る除草等の管理業務委託を初め、埋蔵文化財の適正な管理のため、平成 26 年度から 29 年度までの 4 か年

にわたり市内全域をくまなく踏査して遺跡の有無やその範囲を確認し、遺跡分布地図を作成する市内遺跡詳細分布調査事業の 3 年目の取り組みや、無形民俗文化財の伝承団体や天然記念物の運営費補助金の交付などが主な事業です。

さらに新規事業として、継承することが難しくなってきた市

内の伝統芸能等の無形民俗文化財について、それを映像に記録する事で担い手育成のための資料や観光情報発信を素材として活用するなどの伝統芸能と映像記録保存事業として 3 6 1 万 1 0 0 0 円を計上しています。

一般質問



小野寺 尚武 議員

緊急雇用創出事業について

質問… 緊急雇用創出事業の成果と今後の活用について伺いたい。

答弁… 本市の緊急雇用創出事業の成果につきましては、平成 20 年度から平成 26 年度にかけて本市における臨時職員や小中学校の支援助手などの直接雇用した人数は、99 件で 9 5 8 人、民間事業者への各種事業による委託雇用人数は 30 件で 88 人、合計 1 2 9 件で 1 0 4 6 人となって

います。

本市における緊急雇用創出事業につきましては、ほとんどが失業者に対して次の雇用までの短期雇用事業ですが、本市では学習相談員配置事業で 1 0 0 名以上の雇用が継続されているものや事業終了後も新たな事業として継続され、雇用が確保されているものもあります。また、大田原ツーリズムが実施してい

る、自主旅行プログラム企画造成実施事業における雇用につきましては、緊急雇用創出事業が終了した現在においても、雇用が継続されています。

今後についても、国、県等において同様の事業が創設された場合には、積極的に取り組んでいきたいと考えています。